



100歳おめでとうございます!

ながた くみこ 永田 紅美子さん(大東区)

12月6日に100歳を迎えました。山鹿市出身で、子ども3人・孫4人・ひ孫が4人います。好き嫌いなく何でも食べ、規則正しい生活を送り、毎日散歩しています。人の世話をするのが好きで、テレビで野球や相撲などスポーツ観戦をしています。戦争で兄を亡くしたこと、いろんな苦勞を家族で乗り越えてきたことなど、しっかりした口調で話していました。



やまさき あやこ 山崎 綾子さん(牛水上区)

12月6日に100歳を迎えました。大牟田市出身で、戦争の時に旧満州から戻ってきて夫と結婚しました。子ども3人・孫6人・ひ孫が7人います。若い頃は、海苔網の製造や保険外交員をして働いていました。シクラメンなどの花が好きで、長寿の秘訣は、好き嫌いなく何でも食べること。一番の思い出は、子・孫・ひ孫が生まれたことだそうです。



ふじはら ミヨさん(境崎西区)

12月6日に100歳を迎えました。玉名市出身で、子ども3人・孫7人・ひ孫が10人います。若い頃は看護婦として働き、戦争の時は旧三井病院の玉名療養所に勤め、その後、荒尾で市民病院と市役所に勤務しました。趣味は、新聞・玉ねぎ作り・ソフトバンクの試合を見ること。好きな食べ物はご飯と刺身。長寿の秘訣は、書道を一生懸命やることで、家には掛け軸が飾ってあるほどです。



12/6 2025荒尾市人権フェスティバルを開催しました

文化センターで「2025荒尾市人権フェスティバル」を開催しました。毎年12月の第1土曜日に開催していて、今回で23回目となりました。ステージ発表では、「子ども達からのメッセージ」として、あけぼの幼稚園・万田小・八幡小・荒尾支援学校の園児・児童・生徒が、人権について学んだことや普段の取り組みについて発表しました。

講演会では、社会福祉法人甘木山学園理事の坂口 明夫さんが、『「子どもたちの為から子どもたちと共に」～子どもの声を聴くということ～』の演題で、自身の体験をもとにした講演が行われました。

会場では、市内の学校や多くの団体から寄せられた人権に関する作品の展示、パンなどの販売があり、来場者が作品を見る姿や、パンを買い求める姿がありました。

来場者からは、「子ども達からのメッセージにとっても感動した」、「心のこもった作品が素晴らしかった」という声がありました。



あけぼの幼稚園



万田小



八幡小



荒尾支援学校

12/1 民生委員・児童委員の委嘱状交付式を開催しました

民生委員・児童委員の斉改選に伴い、主任児童委員を含む74人の委員に委嘱状を交付しました。新たに委嘱された委員は、交付式後の研修会に参加し、民生委員・児童委員として活動していくために必要な知識や役割を熱心に学びました。これから3年間、地域の身近な相談相手として、地域を支える存在になることが期待されます。



12/18 絵本作家・保護活動家tamtamさん、市内小中学校に著書を寄贈

絵本作家tamtamさんが「いのちの大切さ」、「動物との共生」をテーマにした自身の著書、絵本『たまさんシリーズ』(全3冊)を市内小中学校に寄贈されました。保護活動家でもあるtamtamさんのやさしさや思いやりが描かれ、子どもたちの心に何か一つでも届けばとの思いで寄贈されました。これまで、福岡県内や熊本県内の小中学校にも寄贈されています。



11/24 「チャレンジマルシェ」「子ども服おゆずり会」を開催

会場の働く女性の家(エポック・荒尾)は、450人を超える来場者で大変にぎわいました。チャレンジマルシェでは「何かに挑戦してみたい」「自分の作品を届けてみたい」という思いを持った、初めての出店者を含む27の多彩なブースが並びました。出店者からは「次回ぜひ参加したい」との声も聞かれ、大きな励みや自信につながったことがうかがえました。子ども服おゆずり会では、多くの家庭から寄せられた衣類などがこれから必要な家庭へ届けられました。



マルシェ会場



子ども服おゆずり会

11/17 旭田 國浩さん(野原) 玉名税務署長納税表彰を受賞

旭田 國浩さんが玉名税務署長納税表彰を受賞し、荒尾商工会議所で表彰式を行いました。これは、荒尾市青色申告会の組織の活性化や活動充実に尽力し、さまざまな活動を通じて申告納税制度の普及発展に努め、納税道義の高揚に多大な貢献と、適正な申告・納税をする人を表彰するものです。旭田さんは、申告納税制度の普及発展に努め、納税思想の向上に顕著な功績を残したことが評価されました。



前列右から、山代荒尾商工会議所会頭、旭田國浩さん、まつした玉名税務署長、はらた原田玉名荒尾地区青色申告会連合会会長